

教草女房形氣

山東京山著

卷十

十六



~ 13
3580
16



明 16 3580 13

刻補冬寅戌治明

山東京山著
歌川豊國畫

教草女房形氣

全部二十五編揃
都合五十巻の内
嫁いびりの悪姑
孝女於花の仇討

自十六編
至二十編

此讀切
第四輯と極

浪華書肆

前川文榮閣藏梓

圓 卍

田

教草女房形氣十六編上巻

花をいばりて藤小牡丹ふあやめ
女房形氣の十六巻を教元の
さのそけいふむくくわ
さやせんかやと女房形氣
のたのむをさかまをさる
志老の戸のけりりきさる
女房形氣のたのむをさ
ゆらふいとがうよきていき
あるまへおびあまをく
さふつたてしやの女房形氣
七編の口画ふのたふ村さ
あはれふとらじより田やけん五郎が
母ありこころがあはれめやて七へん
くろかきまはるまはる大ぬれのあひの女房の
十五編でめづればさるまはるまはる
よみ女房をかかふるさんまはるあはれ
あはれまはるまはるさんまはるあはれ
まはるまはるまはるまはる
年がよりけりりきさるまはるあはれ

教草十六



一、早稲の多き故に早稲の作者もあつた
 二、早稲の多き故に早稲の作者もあつた
 三、早稲の多き故に早稲の作者もあつた
 四、早稲の多き故に早稲の作者もあつた
 五、早稲の多き故に早稲の作者もあつた
 六、早稲の多き故に早稲の作者もあつた
 七、早稲の多き故に早稲の作者もあつた
 八、早稲の多き故に早稲の作者もあつた
 九、早稲の多き故に早稲の作者もあつた
 十、早稲の多き故に早稲の作者もあつた



嘉永七年甲寅仲夏稿成同九年丙辰刻成
 全六卷 京山

一、ある人の心
 二、この世の中の
 三、はやくあつた
 四、うらやまの
 五、あつた
 六、あつた
 七、あつた
 八、あつた
 九、あつた
 十、あつた



嘉永七年甲寅仲夏稿成同九年丙辰刻成
 全六卷 京山



教草十卷

12

一 ちやうととて
 かををうらふふッて一せ
 二 ちやうととて
 三 この日、日さすやうなる
 四 ちやうととて
 五 ちやうととて
 六 ちやうととて
 七 ちやうととて
 八 ちやうととて
 九 ちやうととて
 十 ちやうととて



一 ちやうととて
 二 ちやうととて
 三 ちやうととて
 四 ちやうととて
 五 ちやうととて
 六 ちやうととて
 七 ちやうととて
 八 ちやうととて
 九 ちやうととて
 十 ちやうととて



一 ちやうととて
 二 ちやうととて
 三 ちやうととて
 四 ちやうととて
 五 ちやうととて
 六 ちやうととて
 七 ちやうととて
 八 ちやうととて
 九 ちやうととて
 十 ちやうととて

一 ちやうととて
 二 ちやうととて
 三 ちやうととて
 四 ちやうととて
 五 ちやうととて
 六 ちやうととて
 七 ちやうととて
 八 ちやうととて
 九 ちやうととて
 十 ちやうととて





かみ太一郎

①

かみ太一郎

かみ太一郎

かみ太一郎

七段

かみ太一郎

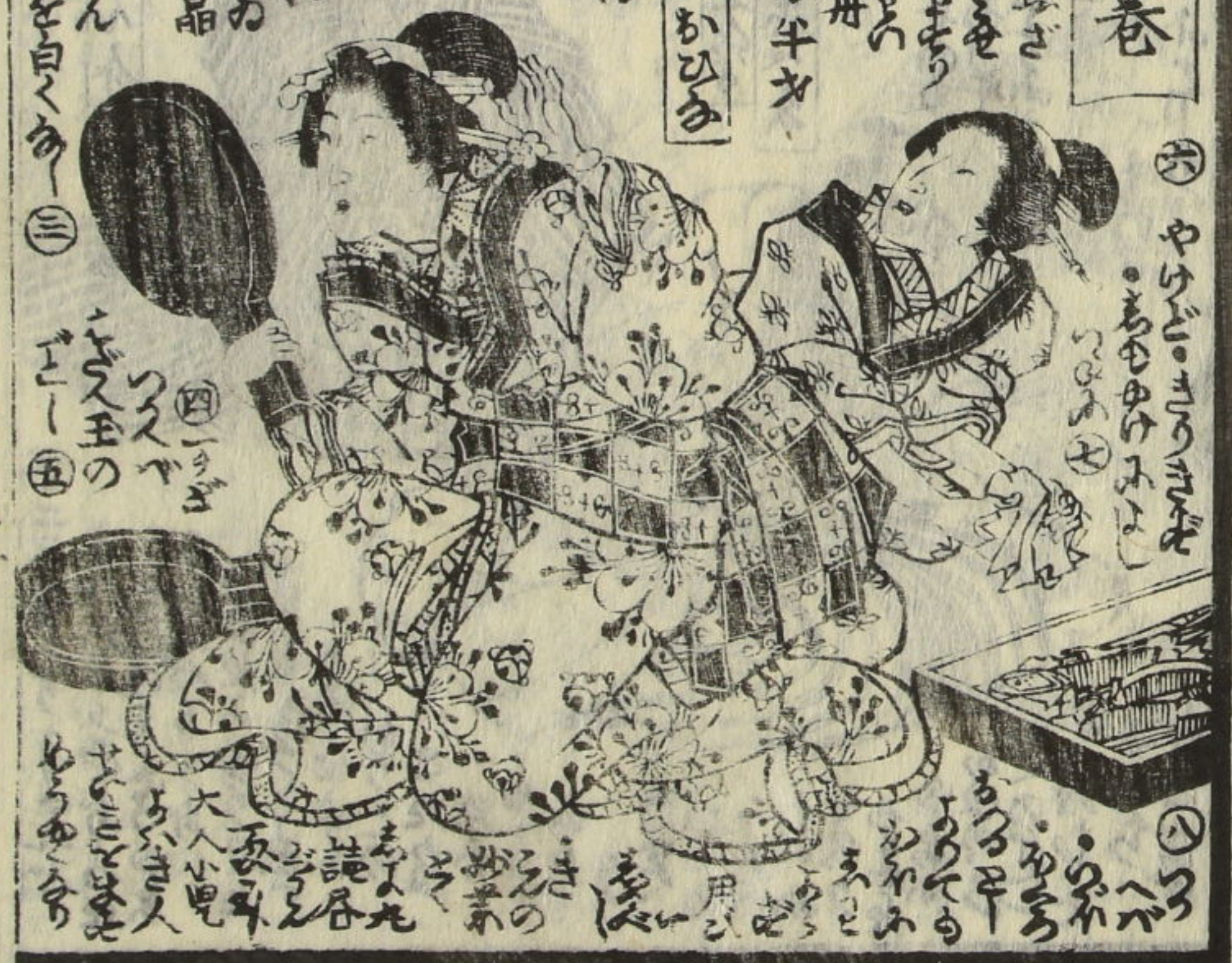
かみ太一郎

画九

正

教草女房形氣十六編下巻

八段 江戸京を銀さ
 一丁目京でんを
 女大おやみまを
 ねん懐妊母
 ねんか二女五半女
 二女五半
 男のう
 りの霜を
 りのくもを
 せのうたか
 せのうたか
 五十一のう
 たるも月や
 たるも月や
 合のう十三景
 菜のうひに水晶
 格一入る
 百三十二せん
 身一のうを白く
 子をらまはる妙業あり



① 江戸京を銀さ
 ② 一丁目京でんを
 ③ 女大おやみまを
 ④ ねん懐妊母
 ⑤ ねんか二女五半女
 ⑥ 二女五半
 ⑦ 男のう
 ⑧ りの霜を
 ⑨ りのくもを
 ⑩ せのうたか
 ⑪ せのうたか
 ⑫ 五十一のう
 ⑬ たるも月や
 ⑭ たるも月や
 ⑮ 合のう十三景
 ⑯ 菜のうひに水晶
 ⑰ 格一入る
 ⑱ 百三十二せん
 ⑲ 身一のうを白く
 ⑳ 子をらまはる妙業あり



京山老人作

國貞画

① なるゆゑあるのへりやせ
 ② されせも老人のぬちり
 ③ かひありやの
 ④ せれお太郎
 ⑤ 女人の子
 ⑥ 女人の子
 ⑦ 女人の子
 ⑧ 女人の子
 ⑨ 女人の子
 ⑩ 女人の子
 ⑪ 女人の子
 ⑫ 女人の子
 ⑬ 女人の子
 ⑭ 女人の子
 ⑮ 女人の子
 ⑯ 女人の子
 ⑰ 女人の子
 ⑱ 女人の子
 ⑲ 女人の子
 ⑳ 女人の子





四入おぼろのあまのり
 ついでに...
 母の...
 十一年の...
 けの...
 お小...
 母の...
 十一年の...
 けの...
 お小...
 母の...



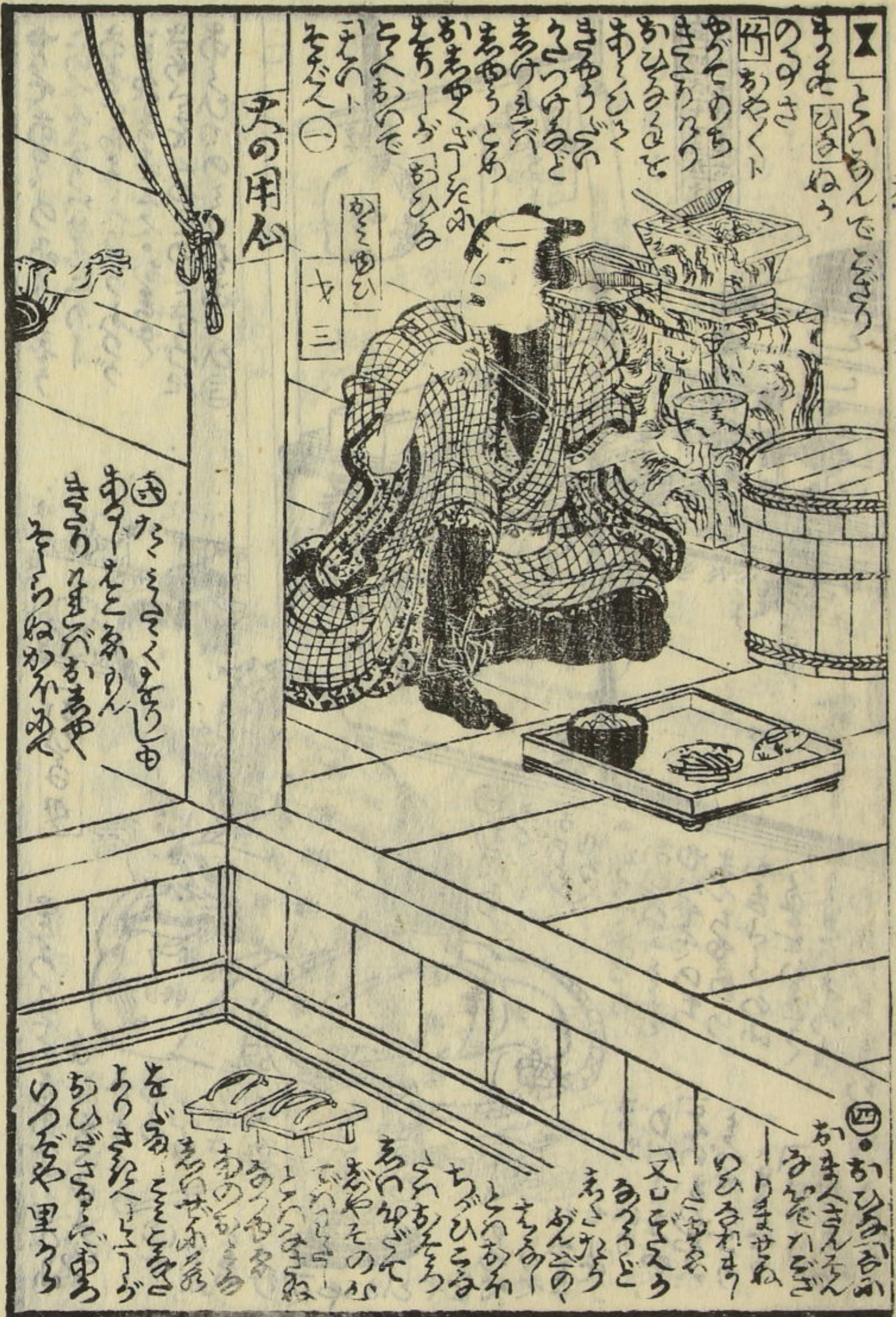
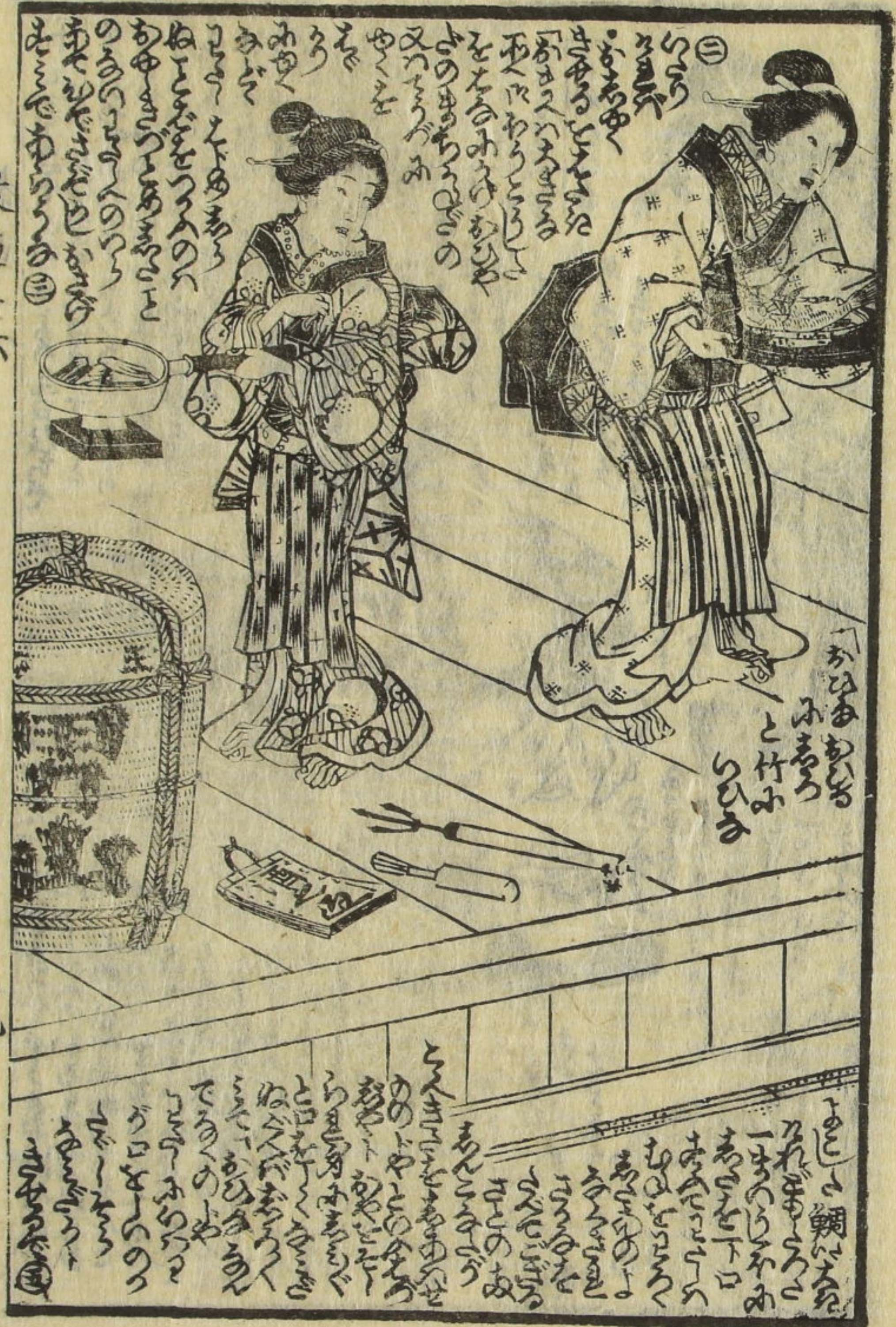
十三段
 かんて...
 母の...
 十一年の...
 けの...
 お小...
 母の...

十二段
 母の...
 十一年の...
 けの...
 お小...
 母の...



十四
 母の...
 十一年の...
 けの...
 お小...
 母の...







十五段

さてこの日あつ三日なりて
 おひさのこゝろをなげ下女と
 男のかつておのこゝろのなげ
 まはる。母のあつるしなげ
 けつひのあつておのこゝろの
 よびおのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ

おひさのこゝろをなげ下女と
 男のかつておのこゝろのなげ
 まはる。母のあつるしなげ
 けつひのあつておのこゝろの
 よびおのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ

おひさのこゝろをなげ下女と
 男のかつておのこゝろのなげ
 まはる。母のあつるしなげ
 けつひのあつておのこゝろの
 よびおのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ



さてこの日あつ三日なりて
 おひさのこゝろをなげ下女と
 男のかつておのこゝろのなげ
 まはる。母のあつるしなげ
 けつひのあつておのこゝろの
 よびおのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ

おひさのこゝろをなげ下女と
 男のかつておのこゝろのなげ
 まはる。母のあつるしなげ
 けつひのあつておのこゝろの
 よびおのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ

おひさのこゝろをなげ下女と
 男のかつておのこゝろのなげ
 まはる。母のあつるしなげ
 けつひのあつておのこゝろの
 よびおのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ
 のあつておのこゝろのあつるしなげ

京山老人作 國貞画

男多うよく目されけり
せむもつれぬ人ふかひめ
らくて野多う町内のまらう
とを本の人ふかひめと
めいたるのつれぬ人
さるる及大由文三かひめ
ちのつれぬ人ふかひめ
下女かひめつれぬ人
ちのつれぬ人ふかひめ
ちのつれぬ人ふかひめ
むやくつれぬ人
白のつれぬ人
ちのつれぬ人
ちのつれぬ人
ちのつれぬ人
ちのつれぬ人



女房形氣十六編終

東陽源謙校 考槃餘事 白紙指明朝 文房書畫家必用之書也

題画詩剛 全二冊 題画詩選 全壹冊

吳巖先生撰輯 書畫比白宣 鼠指明朝 文房書畫家必用之書也

書家必用の小冊 諸君子常中案上必備置あすて
其相用本々相在がは詩題重賦を絶句
聯句ハ六も更あり 數字ハ外半 形勢小冊
其自在を得るにふかひめとて 買ふ書と 蔵ふの君子
必携い相易の珍寶とも可相小冊也

書肆 大阪北久寶寺町心齋橋 前川源七郎梓

重刊水鏡
線裝全
詩眼源類

詩眼源類